

「死」を誰よりも愛し、向き合い、
見つめ続ける歌人の第一歌集。

死のやわらかい

としての歌なのだろう。

……心をつくして死と向かいあい、命をかみしめ、生きていることを
味わう。いつか必ずやってくる死をゆつくり受け入れるための心の器

死ぬことが悲しいだけでなかったこと 落ちて初めて燃ゆ流れ星

会うことのなかった四羽の心臓が一つに刺されて完成している

巻き貝のなかを明るくするように母は美大はむりよと言った

——東直子（栞文より）



【栞】 林あまり / 岡本真帆 / 東直子

【装丁】 名久井直子

ご注文はJRCへ

FAX：03-3294-2177

TEL:03-5283-2230

◎JRCを通して 全ての取次へへの出荷が可能です。

◎返品は長期にお受けいたします。

貴店名	ご注文数	死のやわらかい 鳥さんの臉 著 2024年5月下旬 刊行予定 本体価格 1500円＋税 四六変形判 上製本 / 本文96頁 ISBN 978-4-9912719-4-6 C0092	返品条件付 注文扱い
ご担当者さま	冊		